

2014年12月24日

お客様各位

以下の通りPT500オートパイロット使用上の注意点をお知らせいたします。

PT500オートパイロットは、操舵の安全を守るため多くの警報機能を持っております。  
またブリッジから舵取機にいたる複数の操舵制御系統が用意されており、単一故障による操舵制御系統の喪失を最小限にとどめるよう設計されています。  
それにより、通常、故障が発生しても操舵制御系統の切り替えにより操舵機能を回復することが可能です。

警報機能のうち「緊急警報」として分類される警報が発生した場合は、警報発生と同時に下記を行って頂くよう取扱説明書に記載しております。

- ・制御システム系統の切り替え
- ・自動操舵から手動操舵あるいはノンフォローアップ操舵への切り替え

緊急警報のうちサーボループ警報、フィードバックフェイル警報はフォローアップ操舵の制御系統に異常を検出したことを示す警報であり、そのままでは操舵の継続に支障をきたしている可能性が高いと考えられます。

この場合、すぐさま下記操作を行い操舵機能の回復をはかっていただくようお願いいたします。

\*なお、これら警報が発生した場合、自動的に舵をその位置で停止させる機能を有しているシステムがあり、それらについても同様に下記操作を行ってくださるようお願いいたします。

対応操作1：NFU操舵へ切り替えNFUレバーによる操舵を行う

注意) 電磁弁直接制御タイプを例にとりますと (-N2、-N2F) 電磁弁不良によるサーボループ警報の場合は、ノンフォローアップ操舵も不能となります。  
その場合は次の対応が必要となります。

対応操作2：待機中のS/G Pumpを運転し、運転中のS/G Pumpを停止する

S/G Pump2台運転時には警報表示が

「1-SERVO LOOP」「1-FB FAIL」ならNo.1 S/G Pumpを停止する

「2-SERVO LOOP」「2-FB FAIL」ならNo.2 S/G Pumpを停止する

警報発生時には上記対応を取っていただくと同時に、最寄りの弊社営業・サービス拠点あるいは販売・サービス代理店にご連絡くださるようお願いいたします。

以上